

平成31年度（2019）

学校関係者評価報告書

学校法人 穴吹学園

専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジ 学校関係者評価委員会は、平成30年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施致しましたので報告致します。

令和元年5月31日

学校法人 穴吹学園
専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ
学校関係者評価委員会

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジの自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

藤田 隆良	高松市西部自治会 会長
森川 崇	香川県立観音寺中央高校 元校長
野口 尚義	特別養護老人ホーム さぬき 園長
三谷 仁子	四国学院大学 講師 (元教授)
西内 聖一	香川県洋菓子協会 会長
安藤 奈々子	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 保護者会 支部長
長谷川 直子	学校法人 穴吹学園 卒業生

(学校教職員)

市橋 栄治	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 校長
加藤 猛	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 副校長
濱野 茂雄	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 教務部長
田村 栄司	専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 教務部担当部長

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時： 令和元年5月31日（金）16：30～17：30

開催場所： 学校法人 穴吹学園 専門学校 穴吹パティシエ福祉カレッジ 202教室

4. 自己評価結果の説明・報告（自己評価報告書参照）

当校の「教育理念」、「目的」及び「平成30年度の目標と計画」について説明。各自己評価項目について「評価結果（総括）」、「と「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。書式は、香川県版一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会様式にて実施した。各評価項目について、「A：十分である B：おおむね十分である C：やや不十分である D：不十分である」の4段階にて評価した。

5. 評価項目別評価結果

（1）教育理念・目的・育成人材像

●理念を定め、広く周知しているか

→学生便覧に記載の教育理念が不一致であり、平成31年度（令和元年）では修正済み。

（2）教育活動

●企業と連携し地域の特性を生かした教育を行っているか

→パティシエ：松谷化学工業㈱と協力連携し、希少糖を活用したレシピの開発を行っている。

保育学科：希少糖を使ったお惣菜づくりの授業を実施した。

※今後は介護福祉学科にも取り入れていきメディアを巻き込んだ広報活動も展開していく予定。

●交通安全教育について

→交通安全教育の実施については、課題が残る。

留学生が増えているので今年は具体的に考えていきたい。

（3）学習成果

●資格・免許取得率の向上に向けての取り組みを行っているか

→介護福祉士（合格率90%）

製菓衛生師（合格率100%）

保育士（取得率100%）

※介護福祉学科は留学生1名が不合格。経過措置期間の為、介護福祉士として現場で働いている。今後は模擬試験を実施し学生個々の状況を把握した上で対策講座を実施していきたい。

(4) 学習支援

- 卒業生の能力向上のため研修会などを行っているか
→具体的な活動実績なし。

(5) 教育環境

- 防災・安全管理に対する体制は整っているか
→避難場所の周知と避難訓練を今年は実施する予定。

6. 意見交換及び質疑応答

●退学率実数について

- 退学率3.7% (5名) 目標を1名超過
前年度10名の退学者数から5名に減数している。
※教員の意識改革が退学者減数に繋がった
学校と家族が協力しながら学生に関わったことで退学を未然に防いだケースもあった。

●地域の清掃活動を実施しているのか

- 定期的に学校近隣の清掃活動を実施している。
近隣からは清掃への感謝と共に「とても礼儀正しい」とのお褒めの言葉も頂いている。

●留学生への日本語学習支援について

- 日本語学校の日本語教師と協力しながら対応している。

●留学生は授業を理解できているか

- 留学生に対応した授業展開を実施している。
ポイントをまとめたプリントを配布し学びを確認しながら授業を展開している。

●学習意欲の低い学生に対してどのような対応をしているのか

- アクティブラーニング型の学習を取り入れている。
※「良い場面」では褒めることに力を入れてほしい。

●留学生への母国語での支援について

- 教員もインドネシア・ベトナム・フィリピンの母国語を理解し対応していけるように努力をして欲しい。

●新卒者の退職が増えている

- コンテストに出場するための勉強や練習も勤務中で対応しないと退職に繋がってしまうケースが多々ある。